

いつ来てもおかしくない

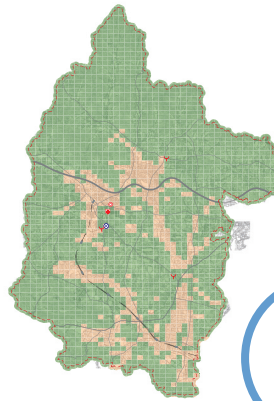
地震に「いつも」備える

1月の能登半島で発生した最大震度7の地震に続き、8月8日に日向灘沖を震源とする最大震度6弱の地震も発生し、気象庁は、「南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。災害は突然、想像を超える規模でやってきます。もしもに備えて、地震への備えの再点検をしましょう。
※現在、南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）への「特別な注意の呼びかけ」は終了しています。

大きな被害が想定される地震

加西市は、「災害が少ない地域」と言われますが、実は、南海トラフ地震で大きな被害が見込まれる「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されています。自分の住む地域の想定を確認することが大切です。

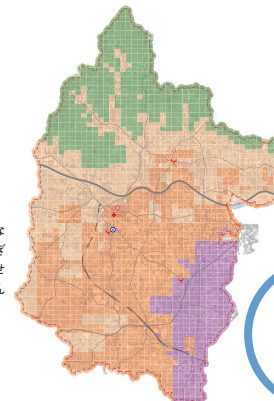
南海トラフ地震



▲震度想定地図

想定
最大震度
6弱

山崎断層帯地震



▲震度想定地図

想定
最大震度
7

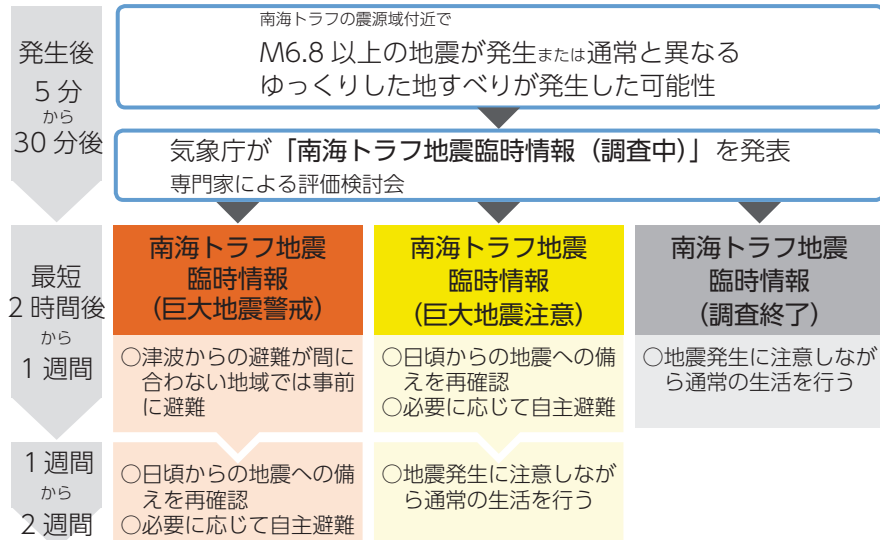
地震が起こったたらどうなる？

震度階級	状況
震度5強	・物につかまらなと歩くことが難しい ・棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる ・固定していない家具が倒れることがある
震度6弱	・立っていることが困難になる ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある ・耐震性の低い木造建物は、建物が傾いたりすることがある
震度6強	・はわないと動くことができない ・固定していないと家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる ・大規模な土砂災害が発生することがある
震度7	・耐久性の高い木造建築物でも、まれに傾くことがある ・耐震性の低い鉄筋コンクリートの建物で倒れるものが多くなる

▶震度階級の色分けは、上記の「震度想定地図」の色と対応しています。

南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ巨大地震が発生する可能性が、普段と比べ相対的に高まったと評価された場合に、気象庁が発表します。臨時情報が発表されるケースを3つに分け、防災対応を示しています。



日常からできる災害への備え

災害が起こったときの被害を少なくするために、日頃から、地域の危険な場所の把握や災害時にどう行動するか、継続的に準備・想定することが大切です。今日からできる対策をご紹介します。

家の周りを点検する

避難に備える

ライフラインを守る

避難場所を確認する

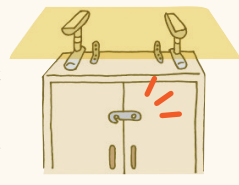
情報収集と共有方法を確かめる

家の中

□家具や家電の固定
L字型金具やベルト式器具で家具と壁を固定する。ポールで天井との間を固定する。粘着性のマットや滑り止めも有効。



□部屋の家具の配置
家具が転倒したり移動したりしたときに、下敷きにならないか。ドアなど避難経路をふさがらないか。



□ケガをしない工夫
窓ガラスやガラス扉に飛散防止フィルムを貼る。家具の扉に飛び出し防止器具をつける。



家の外

□ブロック塀の安全性
ブロック塀に控え壁があるか？鉄筋が入っているか？



□建物の耐震性
昭和56年5月以前に建てられた建物は、現行の耐震基準を満たしていない可能性があります。耐震性が低い場合には、倒壊の可能性を踏まえた対策をしっかりとっておきましょう。

あると助かる 防災グッズ一例

3日分を用意 ※大規模災害時には1週間分

断水

- 飲料水
- 簡易トイレ
- トイレ用紙
- ウェットティッシュ

停電

- 懐中電灯（予備電池）
- ヘッドライト
- LEDランタン
- モバイルバッテリー
- カセットコンロ
- ガスボンベ
- 暑さ・寒さ対策

避難に関する情報はこちら

加西市情報マップ

避難施設マップ

【▲Web上で地震や浸水想定地図を、確認できます。】

加西市防災ハザードマップ

【▲防災課で配布中】

情報収集の方法はこちら

かさいライフナビ・有線・無線放送など

確認できる情報

- 緊急時の防災情報
- 避難所開設のお知らせ
- 各自治会からの被害状況など

テレビ・ラジオ

確認できる情報

- 気象情報
- 避難情報 など

情報がない中で避難生活を送るのは、大きな不安となります。どのように情報収集ができるか確認しておきましょう。

また、家族が離れたところで被災することも考えられます。その場合の集合場所、避難場所の情報をどこに残しておくかを、家族で一度話し合っておきましょう。

問合せ先 防災課 428751

